

## 概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（23年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先23%、「変わらず」の先28%、「減少」した先49%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲26となり、前回調査より9ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先23%、「変わらず」の先25%、「減少」した先52%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲29となり、前回調査より15ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(23/12)	11	7	17	▲17
	今回(24/3)	8	10	17	▲26
収益	前回(23/12)	10	10	15	▲14
	今回(24/3)	8	9	18	▲29

## 動向

### 【前年同期との比較】

売上、収益ともに悪化しました。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲33→今回 8
- ・ 同 収益：前回▲25→今回 17
- ・ 建築売上：前回▲12→今回▲35
- ・ 同 収益：前回▲12→今回▲47

### 【直前3ヵ月との比較】

売上、収益とも悪化しました。

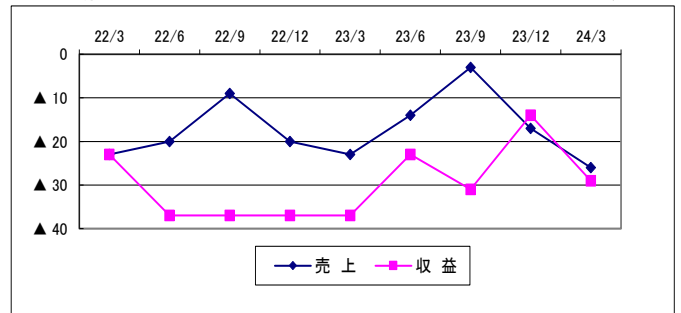
### 【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益とも改善の見通しです。

調査員のコメントには、「建売住宅の需要が高く、順調に推移」、「一定の受注を確保するため、営業活動を強化する」、「少子化の影響により若手の人手不足」、「資材高騰分は価格転嫁したとしても、今後2024年問題を含め利益確保が難しい」といったものがありました。

前年同期比

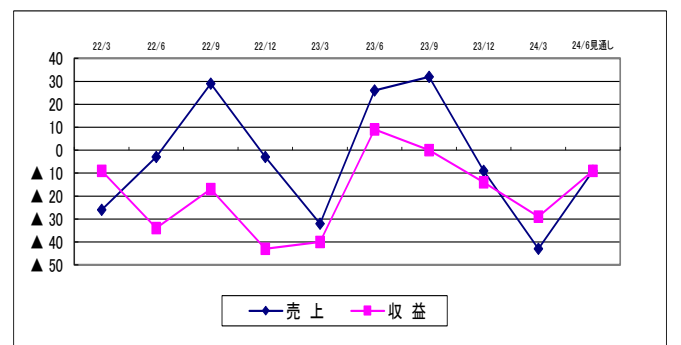
D I 値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3
売上	▲23	▲20	▲9	▲20	▲23	▲14	▲3	▲17	▲26
収益	▲23	▲37	▲37	▲37	▲37	▲23	▲31	▲14	▲29

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6見通し
売上	▲26	▲3	29	▲3	▲32	26	32	▲9	▲43	▲9
収益	▲9	▲34	▲17	▲43	▲40	9	0	▲14	▲29	▲9

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	土木	建築	その他
売上額	10月～12月と比較	▲43	▲33	▲41	▲67
	4月～6月の見通し	▲9	▲8	▲12	0
施工高	10月～12月と比較	▲40	▲33	▲35	▲67
	4月～6月の見通し	▲6	▲25	▲6	33
収益	10月～12月と比較	▲29	▲8	▲41	▲33
	4月～6月の見通し	▲9	▲17	▲18	33
請負価格	10月～12月と比較	14	17	18	0
	4月～6月の見通し	11	17	18	▲17
材料価格	10月～12月と比較	63	58	77	33
	4月～6月の見通し	69	67	82	33
在庫	10月～12月と比較	6	0	12	0
	4月～6月の見通し	3	▲8	12	0
資金繰	10月～12月と比較	▲17	▲33	0	▲33
	4月～6月の見通し	▲6	0	0	▲33